

# 心理

ハイダー（Heider, F.）による態度形成の理論に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

ハイダーによる  では、人が対象について持つ態度は、他者との関係によって左右されると考える。例えば、不均衡状態は、知覚者、他者、態度対象の三者のそれぞれの関係について、 の場合に生じるとし、このような状態のときに不快な緊張状態に陥り、それを解消しようとする力が生じるとした。この理論は  と呼ばれる理論群の代表的なものである。

ア	イ	ウ
1. バランス理論	二つが正で一つが負	認知的評価理論
2. バランス理論	二つが正で一つが負	認知的斉合性理論
3. バランス理論	二つが負で一つが正	認知的評価理論
4. 認知的不協和理論	二つが正で一つが負	認知的評価理論
5. 認知的不協和理論	二つが負で一つが正	認知的斉合性理論

正答：2

# 社会福祉

2022年5月に成立した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

これまで生活上で困難な問題を抱える女性に対する社会福祉の支援は、が中心となって実施されてきた。しかし、近年女性をめぐる課題が複雑化、多様化、複合化してきたことから、新たに「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が制定された。この法律の基本理念には、の協働が明記されている。また都道府県にはの設置が義務付けられ、が困難な問題を抱える女性の相談に応じたり、必要があれば一時保護を行ったりすることなどが規定されている。

ア	イ	ウ
1. 売春防止法	各関係省庁	女性相談支援センター
2. 売春防止法	各関係省庁	婦人相談所
3. 売春防止法	関係機関及び民間の団体	女性相談支援センター
4. 男女共同参画社会基本法	各関係省庁	女性相談支援センター
5. 男女共同参画社会基本法	関係機関及び民間の団体	婦人相談所

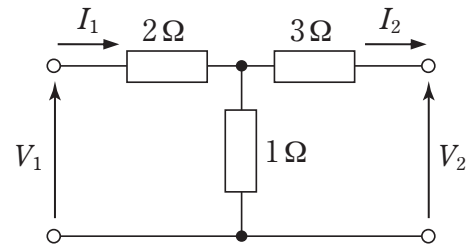
正答：3

# 電気

図のような二端子対回路において、電圧  $V_1$ ,  $V_2$ , 電流  $I_1$ ,  $I_2$  の間に次の関係が成立する。

$$\begin{pmatrix} V_1 \\ I_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} A & B \\ C & D \end{pmatrix} \begin{pmatrix} V_2 \\ I_2 \end{pmatrix}$$

このとき  $A$ ,  $D$  はそれぞれいくらか。



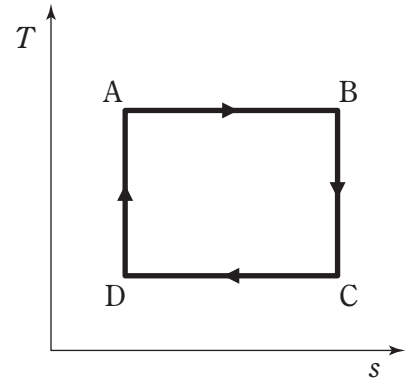
- |    | $A$ | $D$ |
|----|-----|-----|
| 1. | 2   | 4   |
| 2. | 2   | 5   |
| 3. | 3   | 2   |
| 4. | 3   | 4   |
| 5. | 5   | 2   |

正答：4

# 機械

図は、カルノーサイクルの  $T$ - $s$  線図である。  
これに関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも  
妥当なのはどれか。

図のカルノーサイクルにおいて、作動流体が高温熱  
源から熱量を受け取るのは  の過程であり、低  
温熱源へ熱量を捨てるのは  の過程である。こ  
のとき受け取る熱量を  $Q_1$ 、捨てる熱量を  $Q_2$  とすると、  
このカルノーサイクルの熱効率  と表される。



- |    | ア                 | イ                 | ウ                     |
|----|-------------------|-------------------|-----------------------|
| 1. | $A \rightarrow B$ | $B \rightarrow C$ | $\frac{Q_2}{Q_1}$     |
| 2. | $A \rightarrow B$ | $C \rightarrow D$ | $1 - \frac{Q_2}{Q_1}$ |
| 3. | $A \rightarrow B$ | $C \rightarrow D$ | $\frac{Q_2}{Q_1}$     |
| 4. | $D \rightarrow A$ | $A \rightarrow B$ | $1 - \frac{Q_2}{Q_1}$ |
| 5. | $D \rightarrow A$ | $A \rightarrow B$ | $\frac{Q_2}{Q_1}$     |

正答：2

## 土木

湿潤状態の土試料 $55\text{ cm}^3$ の質量が $98\text{ g}$ であった。この土試料を炉乾燥して質量を測ったところ $78\text{ g}$ となった。また、この土試料の土粒子の密度は $2.6\text{ g/cm}^3$ であることが分かっている。炉乾燥する前のこの土試料の飽和度はいくらか。

ただし、水の密度を $1.0\text{ g/cm}^3$ とする。

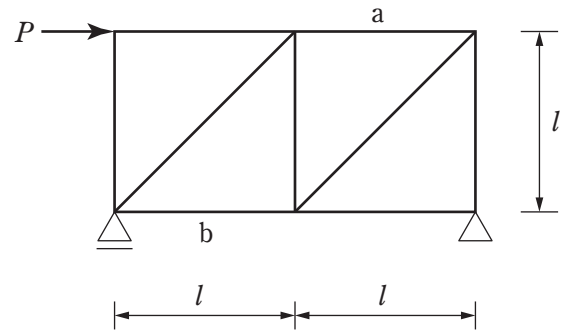
1. 75%
2. 80%
3. 85%
4. 90%
5. 95%

正答：2

# 建築

図のようなトラスの部材 a, b  
の軸方向力はいくらか。

ただし、軸方向力は引張力を正、圧縮  
力を負とする。



- |    | a              | b              |
|----|----------------|----------------|
| 1. | $-\frac{P}{2}$ | $-P$           |
| 2. | $-\frac{P}{2}$ | $-\frac{P}{2}$ |
| 3. | 0              | $-\frac{P}{2}$ |
| 4. | $\frac{P}{2}$  | $-P$           |
| 5. | $\frac{P}{2}$  | 0              |

正答：2

## 環境

次の化合物のうち、鏡像異性体が存在するのはどれか。

1. 2-メチルプロパン
2. 2-フェニルブタン
3. *n*-ブチルベンゼン
4. 2-メチル-2-フェニルプロパン
5. (2-メチルプロピル)ベンゼン

正答：2

# 農業

表は、4種類の果樹の生理障害とその要因について示したものである。表中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

果樹名	生理障害	要因
ア	浮き皮	秋の高温
ブドウ	イ	耐凍性の低下による凍害
リンゴ	ビターピット	ウの局所的欠乏
エ	いや地	前作樹体由来の青酸配糖体が分解されること

	ア	イ	ウ	エ
1.	ナシ	花振るい	カルシウム	カキ
2.	ナシ	眠り病	ホウ素	モモ
3.	ウンシュウミカン	花振るい	ホウ素	カキ
4.	ウンシュウミカン	眠り病	カルシウム	カキ
5.	ウンシュウミカン	眠り病	カルシウム	モモ

正答：5

## 造園

公園や庭園に用いられる緑化樹木に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. カイツカイブキは、ヒノキ科の常緑広葉樹である。
2. ヤマボウシは、ミズキ科の落葉広葉樹である。
3. イロハカエデは、マメ科の落葉広葉樹である。
4. アジサイは、バラ科の落葉広葉樹である。
5. カツラは、ヤナギ科の常緑広葉樹である。

正答：2

## 衛生監視員

食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった食品のうち、特に症例数、重篤度から勘案して表示する必要性の高い食品は「特定原材料」として定められ、法令で表示が義務付けられている。食品表示基準の一部改正により、2023年3月から「特定原材料」に追加された食品はどれか。

1. アーモンド
2. カシューナッツ
3. くるみ
4. 大豆
5. 落花生（ピーナッツ）

正答：3

# 薬剤師

原子吸光光度法，誘導結合プラズマ（ICP）発光分光分析法及びICP質量分析法に関する次の記述のうち，正しいのはどれか。

1. 原子吸光光度法では，主に励起状態の原子蒸気による光吸収を観測している。
2. 原子吸光は極めて狭い波長範囲（1 pm 程度）の光吸収であるため，共存物質等による干渉を考慮する必要がない。
3. ICP は，光と熱の発生を伴う状態で，通常は物質と酸素との化学反応によって生じる。
4. ICP 発光分光分析法は，測定対象の元素ごとにプラズマ化して励起源として用いる必要があるため，多元素同時測定には適用できない。
5. ICP 質量分析法では，ICP 中に導入された試料のうち，イオン化された原子を質量分析計で検出している。

正答：5

# 保健師

因果関係に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 仮定された発症要因と、ある疾病に因果関係があると断定するための十分条件は、仮定された発症要因とその疾病の間に観察研究によって関連が認められることである。
2. 因果関係があると判断するためには、要因曝露が罹患より時間的に前であることが必要条件である。これは関連の整合性と呼ばれる。
3. 食塩摂取量が多いほど胃がんの罹患率が高いことが分かれば、食塩摂取と胃がんの因果関係を強く示唆することになる。これは関連の普遍性と呼ばれる。
4. ウイルスXに感染しなければ疾病Aに罹患せず、ウイルスXに感染すれば免疫がない者は全員疾病Aを発症することが分かれば、ウイルスXと疾病Aとの因果関係を強く示唆することになる。これは関連の特異性と呼ばれる。
5. 交絡因子は、発症要因には強く影響するが疾病には全く影響を与えない因子であり、交絡因子があると発症要因と疾病との間に因果関係があるように見える。

正答：4